



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

別れと出会い

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

令和7年度最後の月、3月になった。3月は子供たちの進級、進学、入学試験、卒業等々、子供をもつ家庭や学校にとって、大変慌ただしい時期である。特に義務教育を終え、それぞれの道を進む子供たちにとっては、不安と希望が交錯する時期でもあるが、しばらくすると新たなステージでの活躍が始まる4月がやってくる。

多くの人が新しい環境でのスタートを切る季節である春がもうそこまで来ている。学校や職場で、仲間とのあるいは同僚や仕事との様々な出会いが待っている。どんな未来が訪れるのか、期待もふくらむ。しかし、それらは常に思ったとおりになるとは限らない。往々にして虫の好かない人や苦手な仕事との出会いになることもあるだろう。それでも、人は出会うべきときに、出会うべき人や物事に出会うといわれている。虫の好かない人との出会いや苦手な仕事さえ、みな何かがしかの意味をもっている。

たとえば、一緒に仕事をしたり、同じ時間を過ごしたりする間に、その人から新たな発見や励みが得られ、自分の生き方、考え方が変わっていくことがある。したがって、出会いは自らの可能性を広げ、成長するチャンスとなる。また、自分には向かないと思っていた仕事が意外と面白く、関心をもち、それまで知らなかった自分の適性を見つけられるかもしれない。

しかし、貴重なチャンスを生かせるかどうかのカギを握るのは、自分自身である。しりごみせず、新しい環境に飛び込んでいく勇気ももとう。そこからまた新たな出会いが生まれて、人の輪も仕事の幅もさらに大きくふくらみ、毎日が豊かになっていくに違いない。現代は価値観が多様化しており、今後は正解のない世の中になるといわれている。どの道を選択し、どのように歩いていくのか。それは他人が決めてくれるものではなく、自分で考え選んでいくものである。しかし、このことは誰にとっても容易ではない。思うようにいかず、不安になり、辛い日もあるかもしれない。それでも決して忘れないでほしいのは、どんな状況に遭遇しても決断し、最後に一步を踏み出すのは自分しかいない。周囲の励ましや支援は、確かに大きな力となるが、その力をどう生かすか、どの方向へ進めていくかを決めるのは自分である。ただ与えられるのを待っていても納得いく自分の未来は、やって来ない。前を向いて自分から取りに行き、築いていくものである。

ところでこの時期、不安と期待が交錯するのは、子供たちだけではない。学校関係でいえば先日、先生方の人事異動の発表があった。子供たちが長年お世話になった先生方が異動していく。子供たちとの別れは辛く、子供たちも先生方との別れは寂しい。鹿児島県の先生方は、南北600キロの範囲で異動する全国でもまれに見る異動の環境に身を置いており、離島や山間部に位置する学校へ赴任することもある。急な住環境や教育環境の変化にも順応しながら、職責を全うしようと尽力してくれる姿には頭がさがる。

この3月まで、市内小・中学校8校において子供たちの指導や地域のために尽力された先生方に心から感謝申し上げます。子供たち一人一人に寄り添い、その成長を支え続けるとともに、日々の努力の累積により現在の勤務校や枕崎の未来を確実に形づくっていただきました。今後の先生方のご健康とご多幸並びにご活躍を心よりお祈り申し上げます。

4月の行事予定

日	曜	行 事
1	水	教育委員会辞令交付式・学校主事・学校司書業務員辞令交付式・地区公民館長辞令交付式・市民会館管理業務研修会・校長辞令交付式・新任校長研修会・新規採用教職員辞令交付式・フレッシュ研修基礎研修・新規採用養護教諭・栄養教諭研修・地区公民館主事・センター主事辞令交付・地区館主事・センター主事研修会
2	木	文化財点検
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	市教頭研修会①(オンライン 午前) 図書館休館日 市公連会計監査・市子連理事会①
7	火	会計年度任用職員辞令交付・研修会 新入職員宣誓式・研修会(午後) 定例教育委員会
8	水	小中学校始業式・1学期給食開始 県立高校入学式・市事務職員研修会① 普通救命講習
9	木	小中学校入学式
10	金	生徒指導主任研修会・教育支援センター説明会 就学援助事務説明会
11	土	
12	日	
13	月	図書館休館日
14	火	第1回指導主事等会議(オンライン ~16) 市文化財点検(保護審議員)
15	水	県市町村教育長会第1回役員会 社会教育行政研修会(オンライン) 南薩地区教育委員会連絡協議会総務課長等会議及び会計監査
16	木	かつおのぼり掲揚式 フレッシュ研修① 就学に関する説明会(未就学児保護者対象)
17	金	市民あいさつ運動 特別支援学級担任等研修会 児童生徒等交通事故防止対策連絡会 南薩地区フレッシュ研修実施校長等連絡協議会
18	土	青少年育成の日
19	日	市民会館休館日・家庭の日
20	月	図書館休館日・すもう教室 全国学力・学習状況調査(～5/7) 南薩地区スポーツ協会連絡協議会理事等・評議員会
21	火	市校長研修会① 小・中連携教育担当者会(午後) 人権と教育推進に係る連絡会(オンライン) 尿検査1次・サン・フレッシュ枕崎運営協議会 フレッシュ研修(オンライン)・第1回新規採用養護教諭・栄養教諭研修(オンライン)
22	水	中学校臨時免許状による教科担任等研修会(オンライン) 県連合校長会総会・「学習者主体の授業」実現プロジェクト推進委員会 南薩地区社会教育振興会総会
23	木	図書館 館内整理日 情報教育担当者会(午後) 市学校給食担当者会(午後) 枕崎市社会教育学級主事会(午後) 南薩地区新規採用小・中・義務教育学校事務職員研修会・第1回地区中体連評議員等研修会 新規採用養護教諭、栄養教諭研修校長・指導教員等連絡協議会 中学校臨時免許状による教科担任等研修会
24	金	第1回地区教育長会 第1回南薩地区小・中・義務教育学校校長研修会 中学校臨時免許状による教科担任等研修会 郷土芸能保存会理事会
25	土	
26	日	「薫風の陶芸展2026」(～5/27)
27	月	図書館休館日 少年の船実行委員会
28	火	第1回南薩地区栄養教諭等研修会
29	水	昭和の日
30	木	市教頭研修会②(午前)・市養護教諭研修会(午後) 第1回南薩地区臨時的任用教職員等研修会 管理職コミュニティスクール研修会(午後・オンライン)

鹿児島学力・学習状況調査

1月に実施された令和7年度鹿児島学力・学習状況調査の結果が公表されました。昨年度から、本調査はタブレット端末を用いてCBT(Computer Based Testing)形式で行われています。

結果を見ると、中学校2年生4教科、1年生1教科が県平均を上回りましたが、小学校5年生の全教科、中学校1年生4教科、2年生1教科で県平均を下回る結果となりました。正答率では差が大きく広がっているように見えますが、問題数が15～24問であることため、ほとんどの学年・教科において、正答数の差は1問以内となっています。

しかし、全ての小・中学校で基礎的・基本的事項の確実な定着が、市全体の課題として挙げられます。各学校では、多様な視点による結果の分析を通して児童生徒の実態や状況を把握し、教職員の更なる指導力向上や今後の授業改善への取組を継続していきます。また、タブレット端末の授業における一層の活用や持ち帰りによる家庭学習における活用の充実を図ることで、更なる学力向上に向けて取り組んでいきます。

【令和7年度鹿児島学力・学習状況調査の結果】

小5	国語	社会	算数	理科
県	51.7	55.4	43.0	58.7
市	46.8	51.8	38.9	56.6

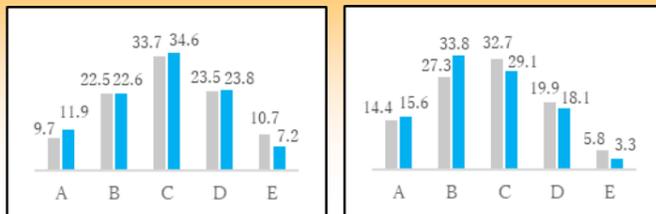
中1	国語	社会	数学	理科	英語
県	59.4	49.7	47.5	50.1	60.5
市	54.9	44.9	46.9	50.8	60.4

中2	国語	社会	数学	理科	英語
県	52.0	55.3	36.9	48.2	44.8
市	51.8	56.8	42.6	51.6	48.1

■ 県平均以上

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から

【体力総合評価】※棒グラフ左：鹿児島県、右：枕崎市(%)



【小学5年生】 この調査結果から、本市の小・中学生の総合的な体力は、鹿児島県の平均と比較して、体力の優れているA・B評価の児童生徒の割合が高いことが分かりました。体力の要素で見ると「柔軟性」が劣っています。「柔軟性」はスポーツパフォーマンスを向上させるだけでなく、けがのリスクを減らす助けにもなります。Web上に多くの運動例が紹介されていますので継続して運動に取り組ませてください。

春休みの過ごし方について

～枕崎市校外生活指導連絡会 申し合わせ事項の徹底～

子供たちが4月からの新学期をスムーズに迎えられるために、「なぜ校外生活指導連絡会の申し合わせ事項が設定されているのか」「なぜ小・中学生だけの遊技場への出入りが制限されているのか」などについて子供たちと一緒に考える機会をつくり、生徒指導事案の未然防止への協力をお願いいたします。

～子供たちの心の声に寄り添った対応～

学年末から学年始めの子供たちの心は期待と不安が入り交じり予想のつかない行動を見せることも大いに考えられます。「この子は大丈夫」と思い込まずに、常に子供たちの心情の変化に気付くことができるよう、心にゆとりをもった対応をお願いいたします。

子ども会新育成会長及びイン・リーダー研修会

2月28日(土)に、枕崎市子ども会新育成会長及びイン・リーダー研修会が開催されました。

イン・リーダー研修会では、KYTトレーニング(危険予知トレーニング)やジュニア・リーダーによるゲームなどを通して、楽しく学ぶことができました。



子供の数の減少など課題もありますが、この研修会をよい機会として、子ども会活動がより充実したものになっていくことを期待しています。

今後とも、子ども会活動への御協力をよろしくお願いいたします。

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

集中力が続かないのは生まれつきではない!

「ゲームにはあんなに熱中するのに、どうして勉強に取り組まないの!?うちの子は変わってるのかしら・・・。」そう思う保護者の方も多いと聞きます。

ゲームは、相手を倒すとアイテムやゲーム内で使えるお金がもらえます。これを脳は「報酬(ごほうび)」と捉え、やる気スイッチをいれる脳内物質「ドーパミン」を出します。自製の効かない子供のうちは、この仕組みによりゲームに「熱中」してしまうのです。

この仕組みをヒントにして、勉強やお手伝いにも各家庭で仕組みを作ってみてはどうでしょうか。「勉強15分」→「ごほうび(シール、おやつ)」など、勉強を短い時間で区切り、報酬(少なくとも設定しよう)がもらえる仕組みにすると「ゲームのように」勉強に集中して取り組むことができるかもしれません。これは、あくまでも一例ですが、学習を「習慣化」するための方策を子供の実態に合わせて取り組んでみてください。